

●加熱機器のバリエーション



3口のIHクッキングヒーターが横に並び、新スタイルのトリプルワイドIHヒーター。大きな鍋を並べても扱いやすく、手前に作業スペースがあるのも便利。「リビングステーション」(松下電工)



トリプルリング加熱という新構造により、鍋底をムラなく加熱するIHクッキングヒーター。トッププレートの色は写真のシルバーのほか、ブルー、ローズがある。「IHクッキングヒーターCS-G37HWA」(三菱電機)



プロ厨房並みのハイカローバーナーを搭載したガスコンロ。オールステンレスのコンロタワーと合わせることで、汚れを気にせずダイナミックな調理が楽しめる。「スタイリッシュコンロ&ブリック」コンロタワー」(ノーリツ)

調理や後片付けの音は意外に大きく、リビングやダイニングとの会話やテレビの音がかき消されてしまうことがあります。シンクは水当たりの音が小さく、食器洗い乾燥機は

●シンクまわりの設備
レンジフードは開放感を損なわないデザインが理想ですが、オープンキッチンでは調理時に発生する油煙や水蒸気、匂いや熱がダイニングに広がらないよう捕集性能が高いものを。IHクッキングヒーターは上昇気流が弱いので、気流を起こす機種を選んだり、整流用のパネルをつけたりします。

●和空間にも洋空間にも合うシステムキッチン



家具のような趣のシステムキッチン。ゲートスタイルで、軽食カウンターとして使える。ダイニング側には収納棚があり、食卓の準備にも便利。「グランピアッセ リュクス」(INAX)

●オープンキッチンならではの工夫



ダイニング側にオープンになったキッチン。収納扉の面材は楽器づくりで培われた高級感あふれる塗装仕上げ、ワークトップは白い人造大理石。ダイニング側のカウンターを立ち上げることで、手が隠れるようになっている。「ドルチェ」(ヤマハリビングテック)



大粒のミストが頑固な汚れを効率よく落とし、抜群の省エネ性を発揮。安全のため、排気は約40℃の水蒸気に下がる。「パワ一除菌ミスト食器洗い乾燥機」(松下電工)



シンク裏の底面だけでなく前面や側面の裏にまで制振構造を広げたステンレスシンク。水はね音が抑えられ、家族との会話の邪魔にならない。「美・サイレントシンク」(クリナップ)

●収納の設備
手が届くのは、半径1m程度。つまり、よく使う調理道具は、その内側に収めることが重要です。また、しまう場所が区画されている道具箱のような引き出しなら、容量はもちろん、調理効率もアップするはず。ダイニング側にキャビネットがあると、配膳や後片付けに家族を巻き込む仕掛けに。地震ロック付きのキャビネットもおすすです。

●加熱機器まわりの設備
IHクッキングヒーターは掃除のしやすさやフラットなデザイン、引火の心配がないという安全性から人気があります。防火上の規制が緩和されるので、垂れ壁がいらす。内装材の制限を受けないという利点があります。一方のガスコンロも、洗練されたデザインはもちろん、安全機能の充実や掃除のしやすさも大幅に向上しています。

●換気・冷暖房設備は健康機能と省エネ機能に優れたものに
家族が集まるLDK空間では、とくに空気の質や温度も健康的でなければなりません。住宅の気密・断熱化により浮上したシックハウス症候群の対策として、24時間換気システムなどで2時間に1回、家全体の空気を入れ替えることが建築基準法に定められています。ハウスタストや花粉のアレルギーをもつ家族がいる家庭では、これらを除去できる空気清浄機能がついた換気設備を選ぶとよいでしょう。

●花粉の侵入を抑えながら外気を取り入れるファン



24時間換気システムの外気を取り込む強制給気ユニット。室内への花粉やチリ・ホコリの侵入が、従来の30%も抑えられる。フィルターの清掃や交換が簡単に行える。「強制給気ユニット 給気専用パイプ用ファン」(三菱電機)

●換気・冷暖房設備は健康機能と省エネ機能に優れたものに
家族が集まるLDK空間では、とくに空気の質や温度も健康的でなければなりません。住宅の気密・断熱化により浮上したシックハウス症候群の対策として、24時間換気システムなどで2時間に1回、家全体の空気を入れ替えることが建築基準法に定められています。ハウスタストや花粉のアレルギーをもつ家族がいる家庭では、これらを除去できる空気清浄機能がついた換気設備を選ぶとよいでしょう。

●換気・冷暖房設備は健康機能と省エネ機能に優れたものに
家族が集まるLDK空間では、とくに空気の質や温度も健康的でなければなりません。住宅の気密・断熱化により浮上したシックハウス症候群の対策として、24時間換気システムなどで2時間に1回、家全体の空気を入れ替えることが建築基準法に定められています。ハウスタストや花粉のアレルギーをもつ家族がいる家庭では、これらを除去できる空気清浄機能がついた換気設備を選ぶとよいでしょう。

●換気・冷暖房設備は健康機能と省エネ機能に優れたものに
家族が集まるLDK空間では、とくに空気の質や温度も健康的でなければなりません。住宅の気密・断熱化により浮上したシックハウス症候群の対策として、24時間換気システムなどで2時間に1回、家全体の空気を入れ替えることが建築基準法に定められています。ハウスタストや花粉のアレルギーをもつ家族がいる家庭では、これらを除去できる空気清浄機能がついた換気設備を選ぶとよいでしょう。

●省エネ性に配慮した次世代床暖房システム



●省エネ性に配慮した次世代床暖房システム
廃熱を使ってお湯をつくるガス給湯器「ECOジョーズ」と、40度と低温水で効率よく温める温水マット、放熱ロスを抑える断熱温水配管を組み合わせた床暖房システム。次世代省エネ基準に適合している。「次世代省エネ床暖房システム床ほっと」(リンナイ)

●センサで効率運転を行う最新エアコン



●センサで効率運転を行う最新エアコン
人感センサなどで家族がいる場所と活動量を判定する世界初「いるとこサーチ」を搭載。人の活動量に合わせて最適な airflow を特定の居場所に効率的に届ける。たとえば暖房運転では、人の周囲のみ暖房することで最大約45%省エネになる。「ルームエアコンXシリーズ」(松下電器産業)

進化したLDKの設備&インテリア

選択の基準は、健康性、省エネ性、デザイン性